

学校法人聖光学園 菖蒲幼稚園・しょうぶ保育園  
平成27年度 自己評価結果報告書

1. 園の教育目標 〈心身共に健全なる子どもの育成〉

- ・丈夫な体で元気がよい子
- ・自分のことは自分でする子
- ・友だちと仲良く遊ぶ子
- ・何にでも生き生きと興味を持つ子
- ・思ったことははっきり話し人の話をよく聞く子
- ・いろいろ創意工夫したことを楽しんで表現する子

2. 本年度、重点的に取り組むべき目標や計画

保護者に園を公開し、子どもたちの生活の様子を見ていただくことで園の教育方針を理解してもらおうとともに、信頼関係がより深められるようにする。

3. 具体的目標・計画

① 教育課程・指導について

季節やその時期の環境に配慮しながら保育を行う。

各学期に保護者が保育参加できる期間を設ける。

自分の親ではない大人との交流、自分の子ではない幼児との交流を通じ、互いに相手の気持ちを理解しようとする心情・態度を養う。

- ・月毎に目標を定め、その時期ならではの留意点を明確にして保育を行うよう心がけた。
- ・保護者の一日保育者体験を引き続き行った。27年度は新入園児保護者と希望者とした。

② 保健管理について

幼児に対する日常の健康観察

環境検査の実施

感染症対策（手指消毒、除菌）

- ・幼児の健康観察は、登園した際に視診を行い具合の悪そうな場合は検温したり、注意深く様子を観察するように心がけている。
- ・保育園では健康チェック表を活用。0歳児は毎朝検温。
- ・園薬剤師に依頼して空気、照度、騒音、水質の検査を実施した。（6月と2月）
- ・手指消毒液と除菌用薬剤、使い捨てビニール手袋を常備。
- ・4月に職員健康診断実施。
- ・5月に園児健康診断（保育園児は11月も）、6月に歯科検診を実施。

③ 安全管理について

園庭遊具の安全点検並びに修繕

緊急地震速報装置・防犯カメラ・110番通報装置の点検整備

保育園玄関に電子錠を設置

- ・「園生活のしおり」の中に災害時の引取方法について記載した。  
(あわせて引取者登録カード、園児引渡カードを作成、保護者に配布・回収)
- ・1学期、避難訓練と合わせて引渡(引取)訓練を行った。
- ・赤い羽根の補助金をいただき、防犯対策として保育園に電子錠を取り付けた。
- ・防犯カメラ・110番通報装置の法定点検を実施した。(6月と11月)
- ・久喜市による放射線測定を行った。

#### ④ 特別支援教育について

学年を中心に支援を要する子どもへの対応について協議をし、園全体で協力体制を築くことで、子どもの成長発達の援助を行う。  
また、外部講師とともに幼児一人一人に対する個別指導のあり方を研究する

- ・園内委員会は主任会議が兼任するものとするが、特別支援コーディネーターは当該幼児の担任を充て、特別支援学校主催の研修会に参加した。
- ・1学期に東洋大学の西村先生に子どもの様子を観察してもらった後、担任の幼児に対する接し方等について助言をいただいた。
- ・市の家庭児童相談員の方と連携を図り、家庭支援を行える体制を築いた。

#### ⑤ 組織運営について

教職員への就業規則の周知(年度当初)  
教職員への情報の取り扱い方針の周知(年度当初)

- ・4月、辞令交付後に教職員で就業規則の読み合わせを行った。  
あわせて個人情報の取り扱い、守秘義務について周知した。

#### ⑥ 研修(資質向上の取り組み)について

新採研・三年次研修・幼稚園教育研究協議会・保育実践研究協議会・埼北地区教員研修会等への参加  
保育園については、幼保一体化園研修会への参加  
園内研修(幼児理解)の実施

- ・新規採用教員研修(年10回)…該当者無し
- ・新規採用教員研修指導助言…吉沢、益子
- ・園長主任研修会…奥野、吉沢
- ・中堅教員研修…柴田
- ・三年次研修…福田、宇塚
- ・私立学校人権教育研修会…松村
- ・全日私幼連設置者園長研修会…園長
- ・私立幼稚園人権教育研究協議会…
- ・保育実践研究協議会…古泉、奥野、吉沢、鈴木、入江、竹内、竹村、熊倉、松村、宇塚、

- ・全日私幼連リーダー研修会…四(章)
- ・子育て支援カウンセリング講座…古泉、竹内、
- ・埼北地区研修会…古泉、奥野、吉沢、鈴木、入江、竹内、竹村、熊倉、松村、宇塚  
春山、猪野、四(章)、猪野
- ・幼保一体化園研修会(3回)…栢嶋、根岸、益子、小澤、柴田、星、福田、三浦
- ・全埼私幼連教職員大会…奥野、鈴木、入江、竹村、星、宇塚、春山、四(章)
- ・4団体教育交流会…園長、四(章)
- ・幼稚園教育研究協議会…熊倉、松村、
- ・合同就職説明会…園長、古泉、吉沢
- ・支援センター担当者連絡協議会…柴田、金沢

### ⑦ 情報提供について

- 園生活のしおり(年度当初)
- 園だより(毎月)
- 募集要項(入園対象児保護者)
- 携帯メール連絡網による情報提供

- ・上記資料により、情報提供を行ったほか、園児の日常生活や行事等の写真を一枚の用紙にまとめたもの掲示した。また、保育園では送迎時にホワイトボードを用いて諸連絡等の情報提供を行った。
- ・携帯メールの防犯情報は、「慣れ」を防ぐ意味でごく近隣地域の情報のみ配信した。

### ⑧ 保護者・住民との連携

- 父母の会との連携による行事運営
- わんわんクラブ活動(交通安全・防犯指導)
- 上記以外の保護者の保育参加、地域住民の保育参加のあり方の検討

### ⑨ 子育て支援(預かり保育を含む)

- 地域子育て支援センターの設置**
- 父母の会との共催で教養講座の開催
- 毎月の園だよりによる子育て情報の発信
- 園生活の様子を写真にて紹介
- 一日先生体験「にこにこママ(パパ)先生の実施

- ・26年4月から開設した地域子育て支援センター「ぼびーるーむ」も2年目を迎えた。未就園児教室「ジュニアサークル」のプレ幼稚園としての役割と、乳児を持つ親が気軽に立ち寄れる集いの場所としての役割を担った。
- ・父母の会の協力により、各種行事を滞りなく開催することができた。
- ・お母さん先生による交通安全指導・防犯指導を行った。(3回)
- ・保育園では、親支援事業として「おまつりごっこ」、「保育参加体験」を行った。
- ・園行事の際、シルバー人材の方に駐車場誘導係を協力していただいた。
- ・4月の父母の会総会后、齋藤統衛先生による子育て講演会を開催。  
演題「身近な材料を使った造形遊び」

- ・「しつけ事典」から子育てのアドバイスを抜粋、毎月の園だよりで情報発信した。
- ・26年度以降、安易な利用を減らし本当に預かり保育が必要な方が利用できるよう、保護者に勤務証明書の提出を求めるとともに、急用などによる単発利用にも対応した。
- ・幼稚園・保育園で、保護者の保育者体験事業として「にこにこママ(パパ)先生」を実施した。

## ⑩ 教育環境整備

- ・バザー寄附金で舞台照明器具を、卒園記念で遊戯室ロッカーのカーテンを購入した。
- ・さくら組、ふじ組保育室の照明をLED照明に改修した。

## <全体を通しての自己評価>

- ・27年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」であるが、当園は新制度への移行を見送った。まだ制度の概要が分からない保護者が多く、現行制度か新制度であるかが園を選ぶ上での要件とはなっていなかったようだ。本来ならば制度の違いではなく、園の教育方針や内容、雰囲気などで選択すべきであるが、それ以上に家庭の経済事情が優先される場合も少なくない。今後は新制度に移行するか否か、社会情勢を見ながら慎重に検討していかなければならない。
- ・2年目を迎えた子育て支援センター「ぼびーの一む」であるが、0・1歳児の利用が伸び悩んだ。プレ幼稚園としてのジュニアサークルは定着しているので2歳児・3歳児の利用は安定しているが、年齢・月齢別のグルーピングがわかりにくかったこと、0歳児・1歳児が利用できることの広報活動が十分でなかったように思われる。
- ・一日ママ先生について、新入園児保護者と希望者を対象に行った。2度目、3度目の参加者も多く、アンケートの結果も好評だった。  
27年度は保育園でも一日ママ先生を行った。仕事の時間を割いての参加であったが、参加者した保護者の感想は概ね好評だった。
- ・27年度も、進級児・新入園児をあわせ、特別な支援を要する子どもが多く在園していた。市の家庭児童相談員や保健センターと連携を図り、個々に適した指導を行うよう心がけた。
- ・支援を要する子どもで、保護者の理解がまだ得られないケースもある。不安な保護者の気持ちに寄り添い、関係機関への橋渡しができるよう丁寧に接していきたい。
- ・環境整備では、老朽化している保育園のエアコンの入れ替えを行いたい。かなりの高額になるため赤い羽根の補助金を申請し、それが通れば実施したい。  
その他、さくら組・ふじ組を除く保育室等のLED化や、遊戯室棟のガラス飛散防止フィルム工事、高画質防犯カメラへの切り替え等あるが、優先順位をつけ、園の経営を圧迫しないよう国・県・市の補助金を活用しながら順次整備していきたい。